

授業科目	看護の統合と実践 I	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2 年次後期	1	講義・演習	30 時間
到達目標	1. 既習学習を基盤にシミュレーション事例に応じた看護が実施できる。 2. 安全・安楽を考慮し、シミュレーション事例に適切な援助ができる。 3. シミュレーション場面において、適切な判断・行動がとれる。 4. 実施したことを適切に報告・連絡できる。 5. 振り返りを行い、よりよい看護を考える。					講師
						専任教員
授業計画						
1 回	オリエンテーション 臨床判断モデルとは 事例の配布					
2 回	臨床判断モデルとは リフレクションとは					
3 回	事前学習のグループワーク 事例①					
4 回	シミュレーション演習・デブリーフィング 事例①					
5 回	シミュレーション演習・デブリーフィング 事例① 全体デブリーフィング 事例①					
6 回	事前学習のグループワーク 事例②					
7 回	シミュレーション演習・デブリーフィング 事例②					
8 回	シミュレーション演習・デブリーフィング 事例② 全体デブリーフィング 事例②					
9 回	事前学習のグループワーク 事例③					
10 回	シミュレーション演習・デブリーフィング 事例③					
11 回	シミュレーション演習・デブリーフィング 事例③ 全体デブリーフィング 事例③					
12 回	事前学習のグループワーク 事例④					
13 回	シミュレーション演習・デブリーフィング 事例④					
14 回	シミュレーション演習・デブリーフィング 事例④					
15 回	全体デブリーフィング 事例④ まとめ					
評価方法	選択肢問題又は論述問題による筆記試験 (50%)、ポートフォリオ (10%)、シミュレーションの振り返りレポート (40%) を総合して評価する					
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学② 基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術 II 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					